

Birth order and paediatric allergic disease: A nationwide longitudinal survey.

出典	Clin Exp Allergy. 2018;48(5):577-585 (https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/29368358/)
著者	Kikkawa T et al.
調査地域	全国
調査時期	2001年から2015年
調査対象	2001年1月10日から17日の間もしくは、7月10日から17日の間に出生した児
依頼数	53575名
有効回答数 または回収率	88%(47015名)
診断方法	ISSAC調査票に準拠
有症率	3.4%(6-18mo), 5.3%(18-30mo), 6.1%(30-42mo), 7.0%(42-54mo), 8.6%(54-66mo), 7.1%(66mo-7y), 6.3%(7-8y), 6.0%(8-9y), 5.7%(9-10y), 5.4%(10-11y), 4.4%(11-12y)
調査概要	全国で行われた出生コホート研究。生後6か月～12歳までのアレルギー疾患の期間有症率を追跡し、出生順（第一子、二子、三子）で比較した論文。